

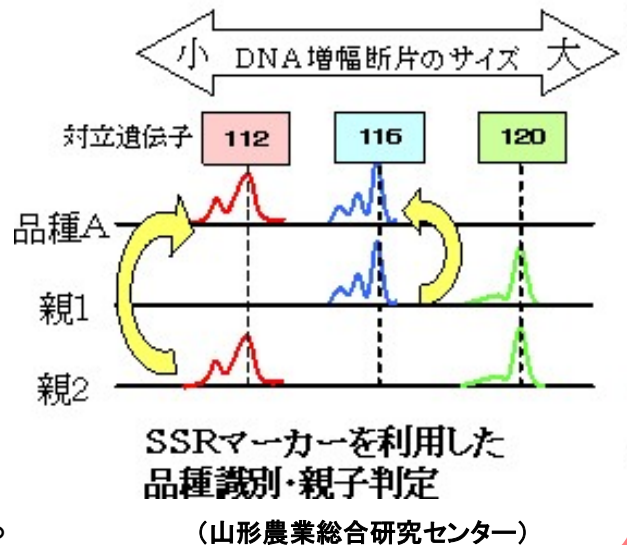
果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



果樹の親子鑑定



- 分子生物学の進歩は眼を見張るものがあります。毛髪や血液を使った**犯罪捜査**や外国の残留孤児の**身元確認**にこれらの手法が使われていることは、原理の詳細は知らなくても多くの方が御存じと思います。
- 果樹の分野でも様々な技術が実用化されています。中でも最も普及している技術が**親子鑑定**です。
- 各品種の遺伝子に **SSR マーカー** を使って処理を加え、得られた断片を比較する手法です。子供である限り**両親のいずれかの遺伝子を引き継ぐ**ことから親子関係を鑑定します。
- この手法を用いれば今まで育成してきた品種の親子関係の確認の他に、**枝変わり品種**や**親が明らかでなかった品種**の解明等が可能となります。今後は、品種の表示や判定等を通して**権利保護**に利用されていくと期待されます。



まだまだ御注意：せん孔細菌病



- 栽培農家の努力が実り、今シーズンの**モモせん孔細菌病**の発生は一定程度抑えられました。しかし、来年も必ず抑えられる確証はありません。
- まだ暫くの間、今までどおり関連機関の指導に従い、**防除対策の徹底**に努めるしかありません。
- 10月上旬の天候の良い日に**夏型枝病斑**を**せん除**し、園外への持ち出し等を適正に行った後、**IC ボルドー-412 30 倍液**を散布して下さい。
- 病害細菌は**強風を伴う台風や雨**で広がります。また、落葉していても乾いていない**葉柄痕**等は感染経路となるので、その後も**必要に応じて薬剤散布**を行いましょう。



夏型枝病斑(サマーキャンカー)



葉柄痕(落葉)